



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月7日

上場会社名 芦森工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 3526 URL <https://www.ashimori.co.jp>
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 財津 裕真
問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 七澤 一真 TEL 06-6105-1863
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	53,430	7.7	3,589	56.5	3,413	29.4	1,620	△19.2
2024年3月期第3四半期	49,601	6.3	2,294	99.8	2,638	51.3	2,004	606.4

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 982百万円 (△65.5%) 2024年3月期第3四半期 2,845百万円 (290.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	269.43	268.87
2024年3月期第3四半期	333.78	333.04

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	54,093	22,968	42.4
2024年3月期	53,861	22,566	41.8

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 22,928百万円 2024年3月期 22,518百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	100.00	100.00
2025年3月期	—	0.00	—		
2025年3月期（予想）				100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	68,000	△0.6	4,500	19.9	4,100	△2.4	2,000	△37.8	333.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更に関する注記)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	6,056,939株	2024年3月期	6,056,939株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	37,715株	2024年3月期	50,933株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	6,014,831株	2024年3月期3Q	6,005,662株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信[添付資料]P. 2「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

（1）当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における経営成績は以下のとおりです。

売上高は53,430百万円（前年同期比3,828百万円の増収）となり、第3四半期連結累計期間としては過去最高の結果となりました。損益面についても、営業利益は3,589百万円（前年同期比1,295百万円の増益）、経常利益は3,413百万円（前年同期比775百万円の増益）となり、いずれも第3四半期連結累計期間としては過去最高の結果となりました。

一方、当社の自動車安全部品事業において過去に製造した製品に対して、顧客が実施した保証延長対応に伴う費用負担見込額として、中間連結会計期間において製品保証損失を990百万円、また機能製品事業（防災関連）において、製造過程で発生した品質不良に伴う製品保証損失、棚卸資産評価損、製品補償対策費を合計117百万円、それぞれ特別損失として計上したため、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,620百万円（前年同期比384百万円の減益）となりました。

以下、各事業セグメント別に概況をご報告申し上げます。当社は、事業本部制を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「自動車安全部品事業」「機能製品事業」の2つを報告セグメントとしております。

①自動車安全部品事業

当第3四半期連結累計期間の当事業の売上高は39,380百万円（前年同期比2,083百万円の増収）となり、損益面も大幅に改善し、営業利益は2,822百万円（前年同期比1,065百万円の増益）となりました。

一部の顧客および地域での生産調整の影響はあるものの、円安効果と原材料費の市況変動分および労務費上昇分の一部を売価に転嫁した結果、シートベルト関連では前年同期並みでしたが、エアバッグ関連、内装品関連においては前年同期比増収となりました。

②機能製品事業

当第3四半期連結累計期間の当事業の売上高は14,028百万円（前年同期比1,747百万円の増収）となり、営業利益は1,234百万円（前年同期比176百万円の増益）となりました。

パルテム関連（管路更生事業）は、売上高7,965百万円（前年同期比1,432百万円の増収）となりました。

下水道分野を中心とした繰越工事が着実に進み、売上高・営業利益ともに前年を上回る水準で推移しました。

防災関連は、売上高1,188百万円（前年同期比527百万円の減収）となりました。

前年は大口径ホースシステムの石油コンビナート向け大型案件納入があったこと、また消防用・消火栓用ホースが低調に推移していることから、前年同期比で減収減益となりました。

産業資材関連は、売上高4,874百万円（前年同期比842百万円の増収）となりました。

年度前半に地盤改良商品の大型土木工事案件の施工・納入があったことに加え、全般的な市況回復傾向が顕著になっており、自動車産業や防火スクリーン用途の広巾織物の販売が堅調に推移しました。

③その他事業

当事業の売上高は21百万円、営業利益は9百万円となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は54,093百万円であり、前連結会計年度末に比べ231百万円増加しました。これは主に現金及び預金の増加1,859百万円、売上債権の減少126百万円、棚卸資産の減少700百万円、有形固定資産の減少820百万円等が影響したものです。

負債は31,124百万円であり、前連結会計年度末に比べ171百万円減少しました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加195百万円、電子記録債務の減少1,948百万円、短期借入金の増加1,958百万円、未払金の増加211百万円、長期借入金の減少1,579百万円、製品保証引当金の増加834百万円等が影響したものです。

純資産は22,968百万円であり、自己資本比率は42.4%（前連結会計年度末は41.8%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年11月8日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,290	7,149
受取手形、売掛金及び契約資産	13,012	13,139
電子記録債権	1,840	1,587
商品及び製品	2,600	2,695
仕掛品	1,428	1,453
原材料及び貯蔵品	9,135	8,314
その他	1,414	1,713
貸倒引当金	△68	△66
流動資産合計	34,652	35,986
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,451	5,015
機械装置及び運搬具（純額）	3,102	2,836
工具、器具及び備品（純額）	1,223	1,174
土地	5,868	5,661
リース資産（純額）	52	84
建設仮勘定	85	190
有形固定資産合計	15,783	14,962
無形固定資産		
のれん	435	312
その他	364	415
無形固定資産合計	799	728
投資その他の資産		
投資有価証券	1,646	1,456
繰延税金資産	249	205
退職給付に係る資産	505	523
その他	239	243
貸倒引当金	△15	△14
投資その他の資産合計	2,625	2,414
固定資産合計	19,209	18,106
資産合計	53,861	54,093

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,435	6,630
電子記録債務	5,561	3,613
短期借入金	2,135	4,093
1年内返済予定の長期借入金	2,801	2,452
1年内償還予定の社債	3,000	3,000
リース債務	18	14
未払金	1,284	1,496
未払法人税等	474	533
未払消費税等	172	179
賞与引当金	636	630
役員賞与引当金	62	—
製品保証引当金	67	467
その他の引当金	35	57
その他	1,239	1,765
流動負債合計	23,924	24,935
固定負債		
長期借入金	5,000	3,420
リース債務	52	62
退職給付に係る負債	1,938	1,956
製品保証引当金	—	433
資産除去債務	29	29
繰延税金負債	265	200
その他	84	84
固定負債合計	7,370	6,188
負債合計	31,295	31,124
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,388	8,388
資本剰余金	1,632	1,632
利益剰余金	10,901	11,910
自己株式	△148	△109
株主資本合計	20,774	21,822
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	519	384
繰延ヘッジ損益	—	△281
為替換算調整勘定	1,022	810
退職給付に係る調整累計額	202	192
その他の包括利益累計額合計	1,743	1,105
新株予約権	24	16
非支配株主持分	24	23
純資産合計	22,566	22,968
負債純資産合計	53,861	54,093

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）
売上高	49,601	53,430
売上原価	41,953	44,490
売上総利益	7,647	8,940
販売費及び一般管理費	5,353	5,350
営業利益	2,294	3,589
営業外収益		
受取利息	14	30
受取配当金	33	36
受取賃貸料	34	31
為替差益	368	—
助成金収入	23	31
その他	84	124
営業外収益合計	559	254
営業外費用		
支払利息	152	117
賃貸収入原価	9	9
持分法による投資損失	35	7
為替差損	—	158
火災損失	—	49
その他	17	88
営業外費用合計	215	430
経常利益	2,638	3,413
特別利益		
投資有価証券売却益	134	74
固定資産売却益	—	225
特別利益合計	134	299
特別損失		
製品保証損失	—	994
棚卸資産評価損	—	78
製品補償対策費	—	34
特別損失合計	—	1,107
税金等調整前四半期純利益	2,772	2,605
法人税、住民税及び事業税	390	942
法人税等調整額	371	43
法人税等合計	762	985
四半期純利益	2,010	1,620
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	6	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,004	1,620

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）
四半期純利益	2,010	1,620
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	139	△135
繰延ヘッジ損益	△192	△281
為替換算調整勘定	859	△222
退職給付に係る調整額	△4	△9
持分法適用会社に対する持分相当額	33	10
その他の包括利益合計	834	△637
四半期包括利益	2,845	982
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,839	982
非支配株主に係る四半期包括利益	6	△0

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（会計方針の変更に関する注記）

（「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20－3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65－2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2023年4月1日 至2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	自動車 安全部品 事業	機能製品 事業	計				
売上高							
自動車安全部品	37,297	—	37,297	—	37,297	—	37,297
パルテム	—	6,532	6,532	—	6,532	—	6,532
防災	—	1,715	1,715	—	1,715	—	1,715
産業資材	—	4,032	4,032	—	4,032	—	4,032
その他	—	—	—	20	20	—	20
顧客との契約から生じる収益	37,297	12,280	49,577	20	49,597	—	49,597
その他の収益	—	—	—	4	4	—	4
外部顧客への売上高	37,297	12,280	49,577	24	49,601	—	49,601
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	37,297	12,280	49,577	24	49,601	—	49,601
セグメント利益	1,756	1,058	2,815	10	2,825	△531	2,294

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業と売電事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△531百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2024年4月1日 至2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	自動車 安全部品 事業	機能製品 事業	計				
売上高							
自動車安全部品	39,380	—	39,380	—	39,380	—	39,380
パルテム	—	7,965	7,965	—	7,965	—	7,965
防災	—	1,188	1,188	—	1,188	—	1,188
産業資材	—	4,874	4,874	—	4,874	—	4,874
その他	—	—	—	19	19	—	19
顧客との契約から生じる収益	39,380	14,028	53,409	19	53,428	—	53,428
その他の収益	—	—	—	1	1	—	1
外部顧客への売上高	39,380	14,028	53,409	21	53,430	—	53,430
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	39,380	14,028	53,409	21	53,430	—	53,430
セグメント利益	2,822	1,234	4,057	9	4,066	△476	3,589

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業と売電事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△476百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	1,302百万円	1,103百万円
のれんの償却額	122	122